

新聞を毎日読んで自分で考える力、批判的思考能力を身に付けよう

— NIE (Newspaper In Education 新聞を教育へ) 週間を迎えて —

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日は、新聞と読書のお話を少しさせていただきます。今年も読書週間が10月27日から11月9日までであり、新聞には読書についての記事が出ていたと思います。また、あまり聞き慣れないことばかもしれませんが、11月中旬にはNIE (Newspaper in Education, 新聞を教育へ) 週間もあります。
3. 開倫塾には7000名近くの生徒が在籍していますので、定期的に独自の「学習塾基本調査」をしています。その中では、成績が非常によい生徒さんはどのような生活をしているのかということも調査します。その結果、学力が高い方に共通して言えることがいくつかあることがわかりました。それは、学校の授業をきちんと聴く・わからないことばがあったら辞書を用いて意味を調べ、その調べた意味を必ずノートに書いて覚える・定期テストの前にはよく勉強する・模擬試験の前には過去に出た問題を繰り返し繰り返しやるなどです。
4. ただ、もっとはっきり出た結果もあります。それは、新聞を毎日読んでいる小学生・中学生・高校生の皆さんや読書をかなり熱心に行っている小学生・中学生・高校生の皆さんは、学力が一様に高いという結果です。
5. そこで、読書週間やNIE (新聞を教育へ) 週間が10月末から11月にかけてあり、新聞でも学校でもどこでも大キャンペーンを張ってそのお話をしてくださっていますので、学習塾である開倫塾でも塾生の皆さんに「この機会に新聞を読みましょう」「読書をしましょう」というお話をさせていただいている次第です。
6. ところで、新聞を読むとなぜ学力がつくのでしょうか。それには、次のような理由が考えられます。今の試験は、学校のテストでも高校入試・大学入試でも出題される問題は本当に本格的なものばかりです。そのため、世の中のことをふだんからよく勉強している人がよい点数が取れます。また、試験に出てくる問題文は非常に長いものが多く、考えさせるような問題もたくさんあります。特に、今の世の中のことについて書かれた長い文章を読んで、それについてどう思うかを問う問題、選択肢がいくつかあって正しいものを選ぶ問題、考えられることを選ぶ問題などが出題されること

もあります。そこで、初めて読む長い文章をきちんと読み取る力があるとくよい点数が取れるということになります。ですから、小学生も中学生も高校生も新聞を毎日読んで、自分で考える力を養っていただければと思います。

7. それから、新聞は社会のウォッチドッグといいますが、問題点を指摘するもの・番犬のようなものと言われています。記者の皆様が、社会の問題点は何か・社会の課題は何かということをもいつも深く考え、命を張って記事を書いてくださるのが新聞ですので、ぜひ新聞を読んで、考える習慣・ものごとを批判的に考える批判的思考能力を身に付けていただければと思います。

8. 読書については、本をゆっくりと丁寧に読む方は学力が高いことがこの調査でもわかりましたし、いろいろな先生方もおっしゃっています。ですから、学校の教科書に出ている本や教科書で推薦されている本を中心に、また、学校の図書室や公立の図書館にある本を中心に1週間に1冊以上の本を読んでいただければ、学力はかなりつきます。

9. そのためにはどのように読めばよいかといえますと、1回ではなく2回、3回、4回と繰り返しゆっくりと読み、気に入ったことばがあったら、そのことばのところだけでよいですからノートに書き抜くとよいと思います。私はそれを「書き抜き読書ノート」と呼んでいます。気に入ったことばをノートに書き抜いて、それを繰り返し繰り返しよく読んで、なぜ筆者はこのように言うのだろうとゆっくりと考えていただきますと、その本が自分のものになってきます。これをするのは、何も難しい本ばかりでなく、質のよいマンガの本でもよいのです。例えば、日本の歴史や世界の歴史、いろいろな人の伝記などもマンガになって、素晴らしいものがたくさんあります。質のよいマンガも図書館などでたくさん読み、自分の力にしていいただければと思います。また、絵本も絵が美しくわかりやすくできているものや、素晴らしい内容のものがたくさんありますので、どうかゆっくりと読んでいただければと思います。

10. 当塾では、学力を身に付ける1つの方法として「学習塾基本調査」というものを毎学期1回実施しています。その調査の結果から、学力の高い方は新聞を毎日読み、読書もかなりきちんとやっていることがわかりました。そこで今日は、皆様にも読書や新聞を読むことをぜひ行ってほしいというお話をさせていただきました。読むことに加え、新聞であればスクラップブックを、読書であれば「書き抜き読書ノート」を作ると非常に素晴らしいと思います。

11. 最後になりますが、読書によって何が得られるかといえますと、深くものごとを考える力であると思います。深くものごとを考える力は思慮深さと言ってもよいと思います。読書をする方は思慮深い方が多いと言われておりますので、ぜひ積極的に読書もしていただければと思います。

—加筆・訂正 2013年5月2日 林 明夫—